

国内排出量取引制度において 取引参加者が果たすべき役割

～JVETSから得られたもの～

平成22年3月3日（水）

兼松株式会社エネルギー部
直売課 青木 淳一郎

会社概要

(2009年3月31日現在)

- 兼松株式会社
- KANEMATSU CORPORATION
- 本社：東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
- 本店 神戸市中央区伊藤町119番地
- 代表者 代表取締役社長 三輪 徳泰
- 創業 明治22年(1889年)8月15日
- 資本金 277億8,100万円
- 発行済株式総数 422,501,010株
- 主な事業内容：
商品売買（国内、海外）、取引関連商品の製造、
事業投資、各種サービスの提供など。
- 事業所 国内7カ所 海外40カ所
- 従業員数 単体890名、連結子会社4,874名

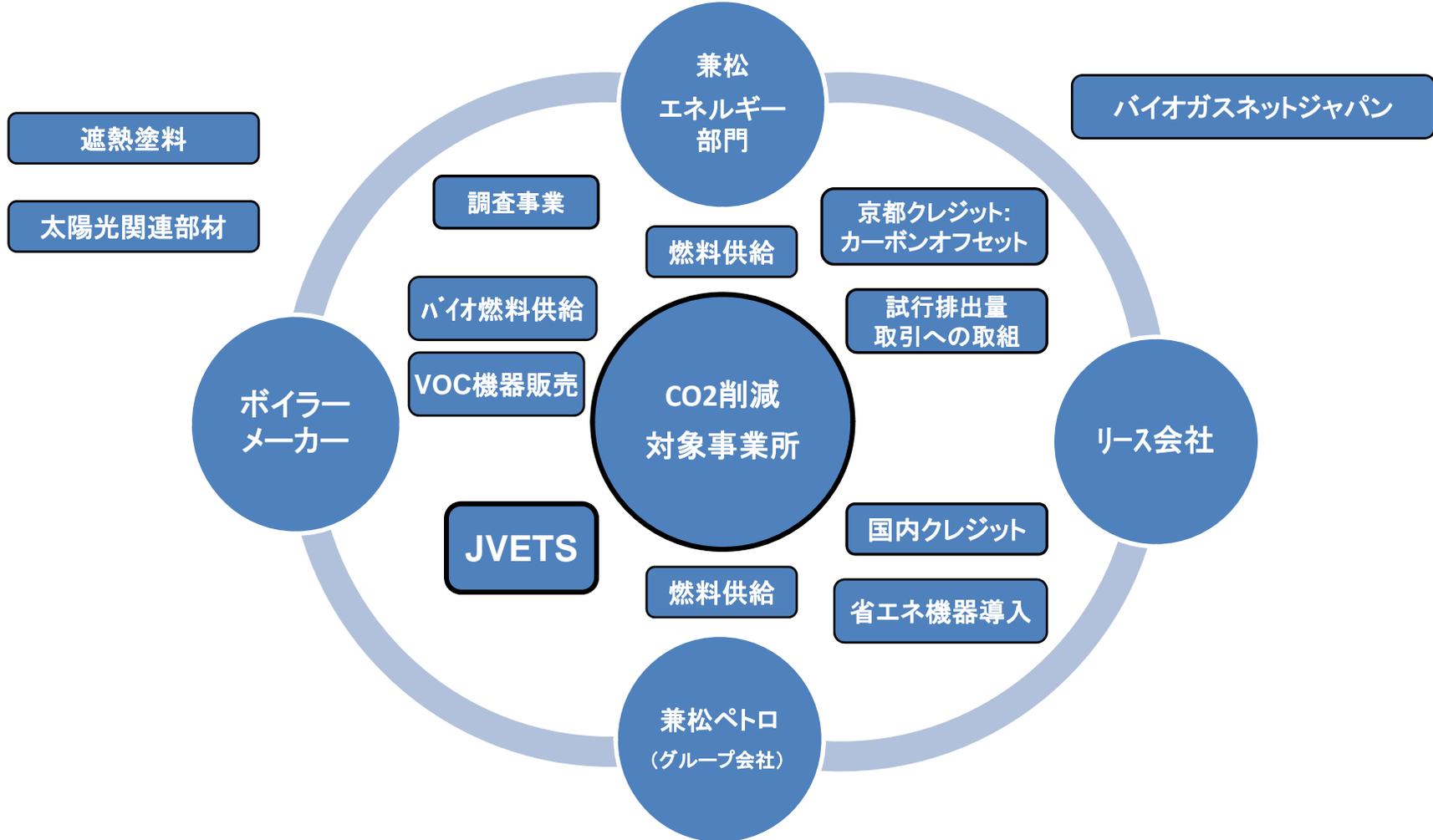
弊社の排出量取引参加理由

- ※ 排出量取引への知見取得
- ※ 目標保有参加者に取引先企業が多数参加
- ※ 商社機能により複合取引への展開へ
 （事業所、IT・コンサルティング企業、リース企業の方々とは異なるアプローチ→環境ソリューションビジネスへ）
- ※ CO2クレジット商品としての妥当性の検証

→ JVETSへの参加は、第1期から第3期を通じて、取引の知見を積む上で、非常に意義があった。

兼松（株）の環境ビジネスと排出権取引

兼松の環境ソリューションは、**エネルギー部門**を中心に行われています。



JVETS第5期(平成21年度)でのソリューション



株式会社ニッセーデリカ 神奈川工場
(神奈川県相模原市)
三井CMリース株式会社共同事業

(お客様のニーズ)
重油から環境負荷の低い燃料に変更したい。



弊社グループ会社、兼松ペトロ株式会社にて
JVETSによる削減事業をご提案

A重油焚ボイラーからLPG焚ボイラーへの転換によるCO2
削減事業

2010年度年間排出削減予測量 512(t-CO2/年)
法定耐用年数分排出削減予測量

5,888(t-CO2) , 11.5年

弊社兼松は、JVETSのクレジットのJPAを、購入ないしは販売によるサポートを
予定

平成21年度設備投資→平成22年度削減期間→平成23年8月末までに検証、CO2取引行う

JVETS制度実績（環境省発表）

JVETS制度実績	取引件数	取引数量	取引平均価格	取引平均価格	最安値	最高値
	(件)	(トン-CO2)	(¥/トン-CO2)	(¥/トン-CO2)	(¥/トン-CO2)	(¥/トン-CO2)
第1期 (平成17年度)	24	82,624	1,212	1,212	800	2,500
第2期 (平成18年度)	51	54,643	1,250	1,250	非公表	非公表
第3期 (平成19年度)	23	34,227	800	800	非公表	非公表
第4期 (平成20年度)	—	—	—	—	—	—

JVETS第3期取引結果

取引件数: 23件
(うち、19件(全体の82.6%)に取引参加者が関与)
 取引量: 34,227t-CO2
 平均取引価格: 約800円

取引量全体の19.8%に当たる6,781t-CO2は第1期・第2期からバンキングされた排出枠
 ⇒ バンキングにより結果として取引参加者が増え、市場に流動性が増加し、供給、排出枠価格の安定に寄与

兼松(株)の取引実績 (第1期～第3期)

- 2007年4月～2007年8月 (第1期)
総扱量58,773 t-CO₂ (16取引) < 制度全体の71.1% (数量) >

安値 ¥900/t-CO₂, 高値¥2,300/t-CO₂
平均単価 ¥1,355/t-CO₂ (加重平均)
平均単価 ¥1,699/t-CO₂ (単純平均)

- 2007年9月～2008年8月 (第2期)
総扱量27,197t-CO₂ (17取引) < 制度全体の49.8%(数量) >

平均単価 ¥1,259/t-CO₂ (加重平均)
平均単価 ¥1,433/t-CO₂ (単純平均)

- 2008年9月～2009年8月 (第3期)
総扱量19,097t-CO₂ (7取引) < 制度全体の55.8%(数量) >

平均単価 ¥653/t-CO₂ (加重平均)
平均単価 ¥590/t-CO₂ (単純平均)

JVETSにおいて取引参加者が蓄積してきた知見 に基づいた価格指標への試み

- これまでも、JVETS取引参加者と環境省の間で意見交換を実施、JVETSにおける排出枠の取引や市場のあり方につき議論
- 第3期の取引期間である2009年度中に、排出枠の売買気配値や取引実績等の価格指標を週次で揭示する試みを開始。
- 当社をはじめ数社の取引参加者が週次で気配値等を(株)QUICKに報告。取引仲介システム「GHG-TRADE.com」上で公表

JVETSネットワーク 取引参加者WG

JVETSネットワーク 取引参加者WGの設置趣旨及び概要

- JVETSにおける排出枠取引に関する知見の蓄積と、キャップ・アンド・トレード方式による国内排出量取引制度における市場のあり方等を検討することを目的として、環境省がJVETSネットワーク取引参加者WGを設置
- 第1回会合を2010年2月15日に開催。
- JVETSにおける今後の排出枠取引のあり方、国内排出量取引制度における取引市場についての論点につき、議論をおこなった。

JVETS取引参加者WGで議論された論点

JVETSにおける取引について

売買気配値の公表に関するニーズについて

取引参加者の意見

- 目標保有参加者が排出枠購入の社内決裁を行う際の**社内説明用資料として活用**されるケースがあった。
- 取引参加者からの一方的な情報ではなく、**客観的で信頼性の高い情報源**。
- 他の制度と比較しても**情報開示の度合いが高い**と言える。

取引参加者による仲介のニーズについて

取引参加者の意見

- 取引参加者の存在により、排出枠の購入を希望する企業が**匿名で取引を行う**ことができる。
- 目標保有参加者の担当者が総務・経理部門であることが多く、**排出枠の取引に知見のない場合も多い**ため取引
- 参加者のサポートが必要。
- 取引参加者は取引に関する情報、システムの使い方や各種手続きのサポート等、**目標保有参加者のサポート役**として重要な役割を果たしている。

取引を阻害するような制度特有の問題について

取引参加者の意見

- 工場の担当者が本制度における担当者として登録されており、取引を進めづらい面がある。**本社のCSR担当者が本制度の担当者となれば、取引が活発化**する。
- **取引を目標遵守のための柔軟な手段**とはとらえておらず、削減してもなお不足する分を取引すれば良いという認識の参加者も見受けられる。

JVETS検証機関WGで議論された論点 将来的な国内排出枠市場のあり方について

仲介事業者の参入規制・行為規制について

取引参加者の意見

- 不当な買い占めを防止するため、排出枠の**大量保有者に対する規制などを検討することも必要**ではないか。
- 仲介業者の存在が「マネーゲーム」を招くという議論は理解に苦しむ。**制度の広がりを見れば、何らかの規制が必要**になることは考えられる。
- 価格の吊り上げを防ぐ方法として、**外部クレジットの活用を認める**ことも考えられる。

排出量取引における取引参加者を使うメリット

(弊社まとめ)

- 情報漏洩リスク→匿名での取引可能、窓口一本化
- 売買ミスマッチの解消(数量、価格リスク)
- 市況リスク回避(保有リスク,購入リスク,販売リスク)
- 自由な契約設定(支払条件、引渡条件)
- CO2削減に専念(排出量取引対策不要)
- 取引最新情報のご提供
- スキル不足のアシスト(豊富な経験でアドバイス)
→目標保有参加者のサポート

まとめ

- ・JVETSでは、第1期から第3期を通じて、目標達成の手段として排出枠の取引が機能し、取引の知見が蓄積されてきていることがわかった。
- ・JVETSでは、これまで取引参加者が取引の円滑化のために非常に重要な役割を果たしてきたことが、
証明された。

ご静聴ありがとうございました。